

取扱説明書

このたびは、マクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

User manual

For the English version of the instruction manual, please refer to the following URL : http://www.maxell.jp/consumer/assets/pdf/mxap-ars50_manual_en.pdf



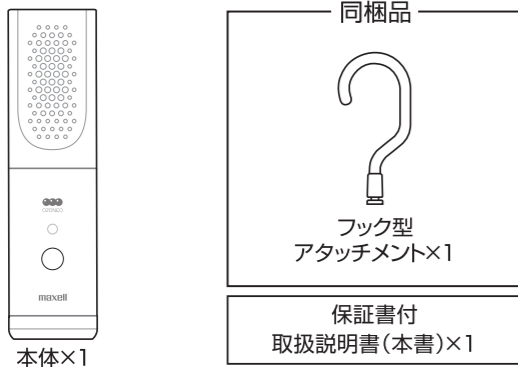
产品使用说明

中文版使用说明书请参考以下 URL :

http://www.maxell.jp/consumer/assets/pdf/mxap-ars50_manual_cn.pdf



梱包品の確認



1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証書面をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係る設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は責任を負いません。

オゾンの人体への影響

オゾン濃度 (ppm)	影響
0.01	敏感な人がオゾン臭を感じる
0.02	オゾン臭を感じる(やがて慣れる)
0.06	光化学オキシダントの環境基準濃度(環境省)
0.1	強いオゾン臭を感じる、鼻、喉に刺激 労働環境における許容濃度(日本産業衛生学会)

*日本オゾン協会 オゾンハンドブックを参考

※本製品のオゾン濃度は 0.06ppm 以下になるように設計されています。

2 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ¹ を負うことが想定される危害の程度
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷 ² を負うことが想定されるかまたは物的損害 ³ の発生が想定される危害、損害の程度

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電を示します。

*3: 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例	⊘	⊘記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。(例: ⊘分解禁止)
	●	●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

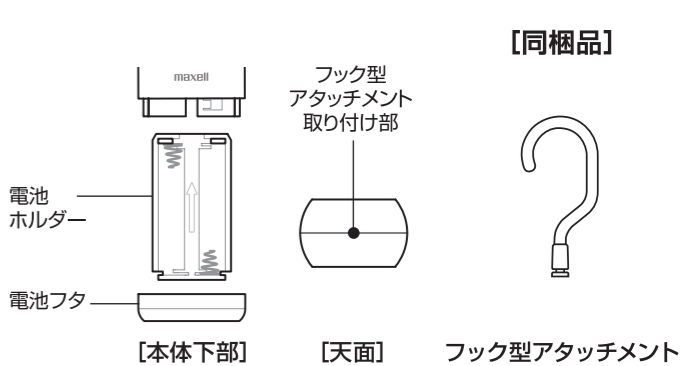
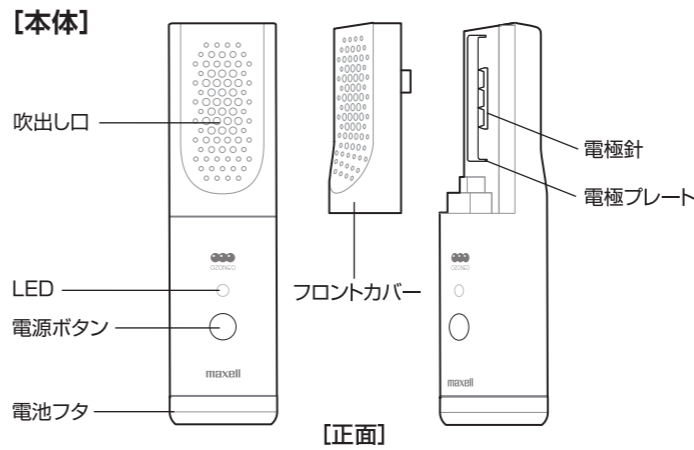
警告	
●	換気のできない場所では使用しないでください。
●	吹出し口に顔を近づけないでください。
●	油煙、可燃性ガス、金属質のほこりのある場所では使用しないでください。発火、発煙の原因となります。
●	乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。感電やけがの原因となります。
●	小動物がいる環境で使用の際は、小動物の様子にご注意ください。
●	さびやすい品物、天然ゴム等は、オゾンに触れると劣化しやすいので、ご注意ください。
●	オゾン特有のにおいが気になる方、また使用中に頭痛など体調に変化を感じた場合は、使用を中止し換気を行ってください。また、医師に相談してください。
●	喘息などの既往症のある方は使用に際し医師に相談してください。

警告	
本体について	修理、改造、分解をしない 火災、感電、けがの原因となります。
●	水にぬらさない 水につけたり、水をかけたりしないでください。火災、感電、ショートの原因となります。
●	火の中に入れない 火中に投入したり、加熱したりしないでください。火災、破裂、けがの原因となります。
●	ぬれた手で使用しない 感電、故障などの原因となります。
●	直射日光があたる場所や異常に温度が高くなる場所へ置かない 機器表面や部品が劣化するほか、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。閉めきった自動車内や直射日光のあたる場所、ストーブなど暖房器具の近くには置かないでください。
●	もれた液にさわらない 本体内部からもれた液体が目に入ったときは、こすらずきれいな水で洗った後、すぐに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。
●	冷蔵庫の中に入れない 故障の原因となります。
●	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れない 発煙、発熱、発火の原因となります。
●	乳幼児やペットの手の届かないところで使用、保管する 感電やけがの原因となります。
●	吹出し口に指や異物(金属など)を入れない 感電やけがの原因となります。
●	吹出し口から内部に飲料水、たばこの灰、燃えやすいものなどを入れない 感電や発火の原因となります。
●	吹出し口を手や物で覆わない 感電や故障の原因となります。

警告	
電池について	電池の発熱、液もれ、破裂防止のため、次のことを守る(けが、故障、周囲汚損の原因) ・乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。 ・乾電池は使用推奨期限内のものを使用する。 ・(+)(-)極を確かめ、正しく入れる。 ・液もれなどしていないか定期的に点検する。 ・長期間使用しないときは、必ず乾電池を取り外して保管する。 ・乾電池を交換するときは、4本とも同じ種類の新しい乾電池を使用する。種類の違う乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しない。 ・取り外した乾電池の(+)と(-)を金属などで接触させない。
異常・故障のとき	異常時、故障時は直ちに使用を中止し、本体から電池を取り出す 本製品から煙、異臭、異音がする場合、水や異物が内部に入った場合はすぐに使用を中止し本体から電池を取り外してください。そのまま使用すると、発煙、発熱、発火、感電などの原因となります。 ・落下時、破損時は直ちに使用を中止する そのまま使用すると、発熱、発火、感電、けがの原因となります。
設置・使用について	換気のできない場所で使用しない 油煙、可燃性ガス、金属質のほこりのある場所では使用しない 発火、発煙の原因となります。 湿気のある場所では使用しない 浴室、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また、加湿器を過度に効かせた部屋での使用はご注意ください。感電や発火の原因となります。 水のかかるおそれのある場所で使用しない 感電や発火の原因となります。
お手入れについて	お手入れの際は必ず本体から電池ホルダーを取り出す 感電やけがの原因となります。

注意	
設置・使用について	不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。 湿気やほこりの多い場所に置かない 浴室、加湿器や調理台の近く、その他ほこりの多い場所に置かないでください。感電、故障の原因となります。
●	本製品に結露が発生した場合は、電源を入れない 環境気温の急激な変化で、本製品内部に結露が発生する場合があります。結露が発生した場合は電源を入れない状態でしばらく放置してください。
●	5～40℃の範囲内で使用する 範囲外温度での使用は故障の原因となります。
●	長期間使用しないときは、必ず電池を取り外す 液もれ、故障の原因となります。
お手入れについて	薬品を使用しない 本体はベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

3 各部のなまえ



4 ご使用前の準備

【電池の準備】

新品のアルカリ乾電池単 3 形を 4 本準備してください。

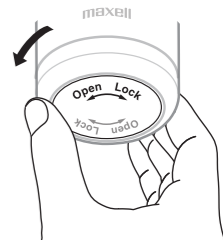
※maxell アルカリ乾電池ホルダー用ジ推奨

ご注意

- ・乾電池に表示してある注意内容を必ず守ってください。
- ・乾電池は使用推奨期限内のものを使用してください。
- ・種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないでください。

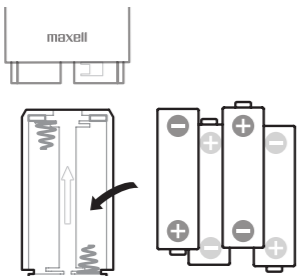
【電池の入れ方】

1. 電池フタを底面ラベルに従い Open 方向に回転させて取り外してください。

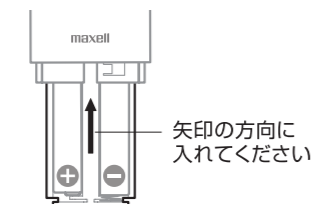


2. 電池ホルダーを本体から取り出し、取り出した電池ホルダーに乾電池4本を入れてください。

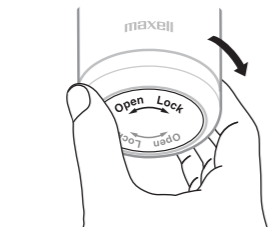
※電池ホルダーの表示に従い乾電池の(+)(-)極を正しい方向に入れてください。



3. 電池ホルダーを正しい方向で本体に取り付けてください。



4. 電池フタを底面ラベルに従い Lock 方向に回転させて取り付けてください。



【電池交換の目安】

本体 LED の点灯が緑から赤に変わった場合、または本体電源ボタンを押しても LED が点灯しない場合は新しい電池に交換してください。

ご注意

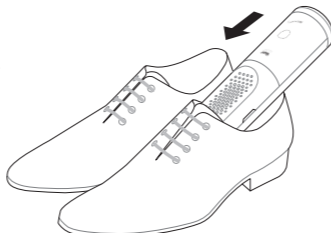
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出してください。
- ・乾電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- ・充電、分解、ショート、過熱したり、火の中に入れてたりしないでください。
- ・取り外した乾電池の(+)と(-)を金属などで接触させないでください。

【使用・設置方法】

< 革靴・スニーカー >

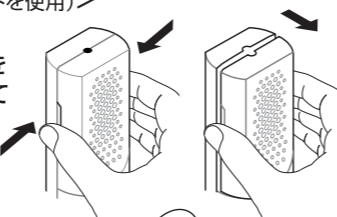
1. 本体を運転させ使用するモードを選択し、吹出し口を革靴・スニーカーの足先側に入れてご使用ください。

※本製品は 1 個入りです。



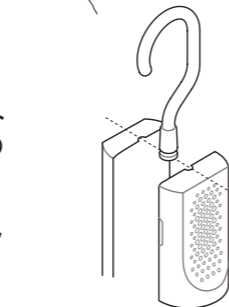
< 衣類 (付属のフック型アタッチメントを使用) >

1. フロントカバー両側面のロック部分を押しながらフロントカバーを前面に引っ張り本体から取り外してください。



2. 付属のフック型アタッチメントを本体上面の穴にセットし、フロントカバーをカチッと音がするまで取り付けてください。

※フロントカバーと本体が正しく取り付けられていないと、本体が動作しない場合があります。



3. 本体を運転させ、スーツバッグなどにかけてご使用ください。



5 使い方

【LED 表示】

動作	LED	モード	備考
停止時	点灯なし	—	—
運転時	点灯(緑)	革靴	電池容量が多い場合
	点灯(青)	スニーカー	
	点灯(黄)	衣類	
	点灯(赤)	革靴/スニーカー/衣類	電池容量が少ない場合(約20%以下)

※革靴モードは運転開始から約10分間LEDが点灯し、その後は約5秒間隔でLEDが1回点灯します。スニーカー・衣類モードは運転開始から約15分間LEDが点灯し、その後は約5秒間隔でLEDが1回点灯します。

【操作方法】

1. 電源ボタンを長押し(約3秒)すると運転が開始します。

2. 運転開始時は、緑色LEDが点灯し「革靴モード」で運転を開始します。再度電源ボタンを短押しすると青色LEDが点灯し「スニーカーモード」に切り替わります。更に電源ボタンを短押しすると黄色LEDが点灯し「衣類モード」に切り替わり、その後は3つのモードが順番で切り替わります。

※「革靴モード」⇒「スニーカーモード」⇒「衣類モード」⇒「革靴モード」・・・以降繰り返します。

■革靴モード：

運転開始から約10分間LEDが点灯し、その後は約5秒間隔でLEDが1回点灯します。

■スニーカーモード、衣類モード：

運転開始から約15分間LEDが点灯し、その後は約5秒間隔でLEDが1回点灯します。

3. 運転中に電源ボタンを長押し(約3秒)するとLEDが2回点滅し、運転が停止します。

※モードの切り替えについて：運転開始後、約30秒間モード切り替えを行わなかった場合、モード切り替えが出来なくなります。モード切り替えをする場合は電源を切り再度電源投入してください。

※本製品は、わずかに「サー」という動作音を発生しますが、異常ではありません。湿度の高い環境では動作音が大きくなる場合があります。

※電極プレートや電極針の汚れなどにより動作が不安定になったときは、LEDが消灯し運転が停止します。

■革靴モード

電源ボタン	動作状態	LED
長押し(約3秒)	停止	消灯
↓	短押しなし	<モード選択待ち(約30秒)> 点灯(緑) *モード切り替え無し(革靴) 運転開始(革靴モード)
↓	運転中	約10分点灯(緑)
↓	長押し(約3秒)	約5秒毎に1回点灯(緑) ⋮ 2回点滅
↓	運転停止(電源OFF)	消灯

■スニーカーモード

電源ボタン	動作状態	LED
長押し(約3秒)	停止	消灯
↓	短押し(1回)	<モード選択待ち(約30秒)> 点灯(緑) *モード切り替え(スニーカー) 運転開始(スニーカーモード)
↓	運転中	約15分点灯(青)
↓	長押し(約3秒)	約5秒毎に1回点灯(青) ⋮ 2回点滅
↓	運転停止(電源OFF)	消灯

■衣類モード

電源ボタン	動作状態	LED
長押し(約3秒)	停止	消灯
↓	短押し(2回)	<モード選択待ち(約30秒)> 点灯(緑) *モード切り替え(衣類) 運転開始(衣類モード)
↓	運転中	約15分点灯(黄)
↓	長押し(約3秒)	約5秒毎に1回点灯(黄) ⋮ 2回点滅
↓	運転停止(電源OFF)	消灯

【運転時間】

モード	LED 点灯色	運転時間
革靴	緑	約1時間で運転停止
スニーカー	青	約2時間で運転停止
衣類	黄	約6時間で運転停止

警告

換気のできない場所ではご使用にならないでください。

6 お手入れのしかた

お手入れの前に

お手入れを行う際は必ず運転を停止し、本体から電池ホルダーを取り出してください。

【本体の汚れ】

中性洗剤や水を含ませた布で汚れを落とし、柔らかい乾いた布でふき取ってください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは使わないでください。

【電極プレート・電極針の汚れ】

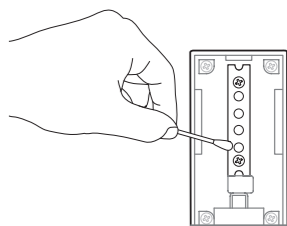
電極プレートや電極針の汚れなどにより動作が不安定になったときは、LEDが消灯し運転が停止しますが、快適にご使用いただくため定期的なお手入れをしてください。ご使用環境にもよりますが、月に1~2回程度のお手入れをおすすめします。

ご注意

- 取り付け、取り外しの際、指をはさんだり、けがをしたりしないようご注意ください。
- 電極針に触れて、けがなどしないようご注意ください。
- 清掃時に、電極針を指で触ったりしないでください。また、誤って曲げたりしないでください。
- 電極プレート清掃時には、キズをつけないようにしてください。
- フロントカバーや電池ホルダーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分の場合、動作不良や故障の原因となります。
- 電極プレートや電極針に汚れが付着したまま使用を続けると、汚れが落ちにくくなる場合があります。

【お手入れ手順】

1. 運転を停止し、電池フタを本体底面ラベルに従い Open 方向に回転させて取り外してください。
2. 電池ホルダーを本体から取り出してください。
3. フロントカバー両側面のロック部分を押しながらフロントカバーを前面に引っ張り、本体から取り外してください。
4. 電極プレート、電極針に付着した汚れやゴミを綿棒などで取り除いてください。
5. フロントカバーをカチッと音がするまで取り付けてください。
※フロントカバーと本体が正しく取り付けられていないと、本体が動作しない場合があります。
6. 電池ホルダーを正しい方向で本体に取り付けてください。
7. 電池フタを底面ラベルに従い Lock 方向に回転させて取り付けてください。



7 トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)

下記「対処の方法」で解決しない場合は、お買い上げの販売店、または当社「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

現象	原因	対処の方法
動作しない (LEDが点灯しない)	電源が入っていない	電源ボタンを長押し(約3秒)する。 ⇒ 6 【操作方法】参照
	電池残量なし	電池を交換する。 ⇒ 4 【電池の入れ方】参照
	フロントカバーが正しく取り付けられていない	フロントカバーを正しく確実に取り付け。 ⇒ 6 【お手入れ手順】参照
	電池フタが正しく取り付けられていない	電池フタを正しく確実に取り付け。 ⇒ 4 【電池の入れ方】参照
本体から異音がる	電池ホルダーに電池が正しく挿入されていない	電池を正しく確実に挿入する。 ⇒ 4 【電池の入れ方】参照
	電極プレートもしくは電極針が汚れている	電極プレート、電極針を清掃する。 ⇒ 6 【お手入れ手順】参照

8 仕様

【本体】

電源：アルカリ乾電池単3形4本
(maxell アルカリ乾電池ボルテージ推奨)

動作時間：革靴モード 約1時間
：スニーカーモード 約2時間
：衣類モード 約6時間

使用温度範囲：5~40℃(結露なきこと)

オゾン発生量：約1mg/h

外形寸法：幅45×奥行45×高さ168mm(突起部含まず)

質量：約130g(乾電池含まず)

【同梱品】

フック型アタッチメント×1個、取扱説明書(保証書付)

※消臭・除菌・ウイルス除去効果については、下記サイトに記載しています。
http://www.maxell.jp/consumer/mxap-ars50_01.html

9 保証とアフターサービス

■保証書

保証書はよくお読みの上、購入証明書(レシート等)と共に大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から1年間です。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

マクセル株式会社 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 http://www.maxell.co.jp	お客様ご相談センター TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル) マクセルお問い合わせ <input type="button" value="検索"/>
--	---